

# 股関節だより

## 第7号

平成13年10月

事務局：佐賀医科大学整形外科

〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号

TEL 0952-34-2343 FAX 0952-34-2059

発行日 平成13年10月1日

教授 佛淵 孝夫

「股関節だより：第7号」をお届けさせていただきます。またまた、発行が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

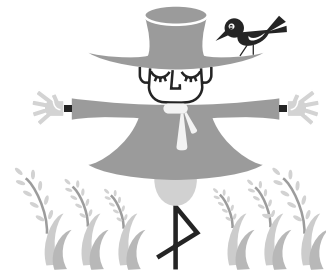
今年がわが佐賀医科大学整形外科に8名の新人医師を迎えることが出来ました。それぞれに大きな希望と可能性を抱いて医者になった21世紀最初の若者たちです。医療の世界でも大きな改革が始まっています。彼らが一人前となって活躍する頃には想像もできないような変化が起こっているかもしれませんが、どんな時代になっても患者さんや同僚に信頼される医師になってほしいと願っています。そのように育てることが私の使命でもあります。（最近では毎朝7時40分からの私の“一人回診＝朝の散歩”に新人たちが付き合ってくれています。）

有馬様からロボット手術についてのご意見をいただきました。結論から申し上げますと現時点では熟練した股関節外科医に比べればロボットは問題なく劣っています。ドイツのある先生の言葉を借りれば「最悪の医者よりはましかもしれない」程度であると思います。ロボット使用は医療費と手術時間を2倍ぐらい必要とし、さらに手術前に患者さんのCT検査やロボットを動かすための技師を必要と

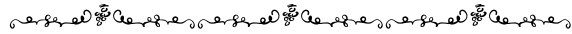
しています。しかも何らかの事故が起きた場合の危機管理は今の所全く不明です。

しかしながら、ロボット技術を使った手術は最近始まったばかりです。今後飛躍的な発展を遂げ、今年医者になった新人たちが整形外科医をやめる頃には人の手で直接手術することは稀になっているかもしれません。それでもどんな時代になっても「手作り」に勝るものは無いと思っています。

佐賀医科大学整形外科の診療システムは国立大学の附属病院としては画期的なものになっています。毎月多くの見学者が全国各地から訪れています。まだまだ足りないところが多々あるとは思いますが、「思いやりのある効率的で質の高い医療」を理念として掲げ、職員一丸となって努力している成果だと思えます。今後とも努力していく所存です。皆様の忌憚のないご意見、叱責何でも結構です。事務局までお寄せいただければ幸いです。



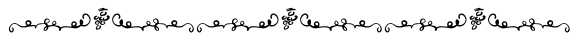
皆様、はじめまして。私は本年6月1日より整形外科教室に勤務させて頂く事になりました会田（あいた）と申します。仕事につきまして早8年が過ぎ、9年目を、この佐賀医科大学附属病院でスタートいたします。佛淵先生のご指導のもと、股関節疾患の治療スタッフの一人として、皆様の少しでもお役に立てるように精一杯努力する所存です。脊椎（背骨）の疾患を、特に興味をもって勉強していきたいと考えておりますので、腰痛・下肢痛についてご相談いただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。



## 重松 正森

平成13年6月1日より、佐賀医大へ帰って参りました重松と言います。よろしく申し上げます。5月までは諸富の小柳記念病院で2年2カ月ほど勤務していました。この股関節便りを読まれている方の中には私が佛淵教授へ紹介した患者さんもおられると思います。みなさん、お元気にされているでしょうか？

私が大学で働くのは、実は研修医のとき以来で7年ぶりになります。その間に病棟のシステムや雰囲気もすっかり変わってしまい驚いているところです。人工股関節の手術を受けた患者さんが1週間もしたら松葉杖で歩いている、というのは他の病院では見られないのではないのでしょうか？「佐賀医大で手術をしたらすっかり痛みがとれたよ。」という話を聞いて教授外来を受診した、という人が多いのは、患者さんの満足度が高い現れだろうと思います。私も股関節グループと腫瘍グループの末席に加えていただいております。手術をすることによって皆さんの人生がよりよいものになるよう、微力ながらお手伝いできればと思っています。至らぬことも多いと思いますが、よろしくお願い致します。



## 勤務交代のご挨拶

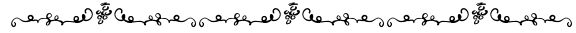
### 井手 衆哉

平成13年6月1日より佐賀医科大学整形外科に勤務しております井手と申します。それまでは長崎、福岡の病院で研修しており、佐賀医科大学で勤務するのは3年6カ月ぶりということになります。その間、佛淵教授のご努力により整形外科のシステムも変化し、より患者さん本意の、分かりやすい医療へと発展しているように感じます。その一端を担えるよう、努力していく所存であり、また皆様もお気付きの点があればいつでもお声をおかけください。よろしく申し上げます。

平成13年6月1日より嬉野、伊万里、長崎の病院での研修を終え、3年半ぶりに佐賀医大に勤務することになりました上園英嗣と申します。

佛淵教授のもとで、勉強させていただき少しでも患者さんの役に立てるように努力します。よろしく申し上げます。

何かお気付きの点、不安なことがあれば気軽に声をかけて下さい。



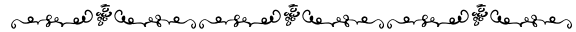
## 森本 忠嗣

4年目の医員の森本忠嗣です。

平成13年6月より大学勤務で教授の医学医療への姿勢見識技術、患者、スタッフへの姿勢配慮等、目の当たりにしとても勉強になります。

私自身は脊骨（脊椎、脊髄）に興味があり、教授のご配慮により昨年は長崎労災病院、今年は脊損センターで脊椎外科を学ぶ機会を与えて頂き、その学びを患者、大学に還元するつもりです。

“世界を相手に”の教授の下、アグレッシブに研鑽を積んでいく所存ですので、宜しくお願いします。



### 福島県立医科大学 医学部

### 整形外科 青田 恵郎<sup>しげお</sup>

皆様、こんにちは。7月より1ヵ月という短い間ですが佐賀医大整形外科で股関節の研修をさせて頂いております。すでに3週間が過ぎ、残りも少なくなりましたが、佛淵教授のもとでは毎日驚かされております。

入院すると効率よく準備がなされ、手術後の訓練や指導もあらかじめなされます。手術は流れるようにあっという間に終わり、手術後の患者さんは回復が非常に早く、とても元気で明るいということにビックリ致しました。通常行われている股関節治療の3倍くらい楽に患者さんが治療されているのではないかと思います。

佛淵教授は一日に何度も病室を訪れ、患者さんの具合を伺いに行かれており、患者さんも教授もとても嬉しそうにしております。担当の先生や看護婦さんもとても丁寧に患者さんに接しており、患者さんと一緒になって歩行訓練を自ら行っております。佐賀医大の整形外科病棟の患者さんが元気で明るいのは、非常にストレスの少ない治療法と、佛淵先生をはじめとする担当の先生や看護婦さんの心のこもった医療をされるからではないかと思います。

佛淵教授の外来を見せていただいておりますが、患者さんも教授も久々に会われ、嬉しそうに会話されている光景を目にします。担当の先生や看護婦さんに会いたいとおっしゃる患者さんもたくさんおられ、良い医療を受けられ喜んでおられる患者さんの

多さには圧倒されています。端から見ていて羨ましい限りです。

もう研修も残すところ数日で、この股関節だよりが発行される頃には福島に帰っていると思いますが、佐賀医大で行われている素晴らしい医療を私も行えるようになればと思っています。少しでも福島の

患者さんも楽に治療が受けられるようになればと思っています。

最後に、手術を受けた足や歩き方を親切に見せていただいた患者さん、有り難うございました。この場をお借りしお礼を述べさせていただきます。また機会がありましたら勉強しに参りたいと思います。

## 新入局員

田島 智徳



はじめまして。新入局員の田島です。まだまだ半人前ですが、佛淵教授をはじめ周りの先生方のご指導のもと、医療の素晴らしさと厳しさを感じている日々です。僕も股関節だよりを毎号読ませてもらっていますが、患者さんの声がつまっていて、こんな不安があるんだな、と大変参考にさせてもらっています。少しでも患者さんの苦痛をへらせるように一生懸命がんばっていきますので、よろしくをお願いします。

西古 亨太



『股関節だより』をご愛読の皆様、初めまして。この春より整形外科に入局致しました“西古亨太”と申します。現在佛淵先生をはじめ、多くの先生方の下で、研修させて頂いています。今後もいろいろなことを先生方、患者さんから教わりながら、頑張っていきますのでどうぞ宜しくお願いします。

野崎 修



新入局員の野崎です。入局してから約4カ月ぐらい経ちますが、まだまだ、仕事にも慣れず、佛淵先生をはじめ、いろいろな先生方、看護婦さん達にも、迷惑をかけてばかりです。これから、もっと勉強して、早く一人前になれるよう頑張っていきたいと思っています。

永島由紀子



新入局員の永島です。病棟では、患者さんやスタッフの皆さんに、教わったり、励まされたりの毎日でした。9月からは国立嬉野病院に行きます。皆さんにいただいた元気で頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。

角田 憲治



はじめまして、今年から整形外科医として働くことになりました角田です。今まで主治医をさせて頂きました患者さんは皆様笑顔で帰られたように思います。患者さんの笑顔が僕たち研修医にとって最高のご褒美だと思います。まだまだ未熟者で足りない部分があるかもしれませんが、これからももっとたくさん笑顔が見れるように精一杯がんばっていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

釘崎 創



はじめまして新入局員の釘崎です。今年の5月より佛淵教授のもとで働いております。まだ半人前で力の及ばないところがありますが、人工股関節の手術を受けられた方々が3週間もしないうちに笑顔で帰られているのを見ているとこちらが元気づけられます。また退院された方々が定期的に外来に来られて、顔見知りの方がおられたときは何かうれしくなります。これからもよろしくをお願いします。

前田 和政



新人医局員の前田と申します。佛淵先生をはじめ、先輩たちの温かい、また看護婦さんたちの優しいご指導のもとでがんばっています。みなさんが元気に帰られる姿を見て、いつも嬉しく思い、外来でお元気そうな姿でお会いできる日を楽しみにしています。

米倉 豊



6月より佐賀県立病院好生館に異動。

No.1

若葉の季節となりました。佛淵 Prof. はじめ先生方には益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

御多忙の中しっかりと“股関節だより”をお届け頂き有難うございます。新しい情報等を知らせて頂き、日々の生活の面でも大変参考になり毎回楽しみに致しております。

私も退院以来早10ヶ月が過ぎてしまいました。入院中と12月の検診時に脱臼する大失態を演じ先生方に多大なご迷惑とご心配をおかけ致しました。ほんとにはずかしく自分に腹立たしい思いで一杯です。幸いに自宅では今のところ無事であります。

3月頃から一本杖（外出時、家の中では杖なし）となり家のまわりを歩いております。

No.2

昨年の今頃と症状を比較しますと雲泥の差です。毎日の食事作りも楽しんで出来るようになりました。もともとの病気のための通院（鹿児島市立病院内科）も知り合いの方と一緒に日を合わせ、主人送り迎えて通っております。通院も1ヶ月に1回となりましたので病気本体（多発性筋炎）は病状が落ちついて病気を佐賀に置いて来た気分です。

3月末頃（多分3/29〔木〕）だったと思います。NHKの「クローズアップ現代」で人工股関節全置換術のことが取り上げられました。阪大の越智 Prof. が新鋭の手術用ロボットが開発され、これを地域ごとに導入すれば患者さんが医療を均等に受けられ非常に助かるとすごく推奨されました。そして医者が手

No.3

術したのとロボットでしたのとのレントゲン写真を比較（人工股関節の埋め込み具合、骨のずいのけずり方技術面等）をされ所要時間のことも含めてあたかも医者の方の技術の方がまったく駄目なような説明をしてロボットでの手術の優位性や利点を言われ、私はギョツとしました。私はちょうど2/7に鹿児島の中村整形で検診のためにレントゲンを撮ったばかりでバッチリの状態だったので中村Dr. と喜こんだ矢先だったので、とてもはがゆい思いをしました。テレビに向って「それは違う。佐賀医大の整形外科では Dr. をはじめスタッフの方々がちゃんとそのようにして患者さんを3週間で退院させ家庭に社会に復帰させて下さっていますよ。認識不足も甚だしい。N

No.4

HKともあろうものが」と叫び方ですっと思いついておりました。

このことを息子に話したら何故すぐにNHKの国谷さんに tel しなかったのかとあべこべに言われてしまいました。その夜はBSやハイビジョンでもくり返し見てブツブツ言うことでした。（3回も見ました。）今の時代、人間よりコンピューターがいいのか、人それぞれでしょうが私はやはり人間の心と目と手（つまり五感）が一番大切ではと常日頃考えておりますので越智先生に文句ではありませんがどんな考えで医療にたずさわっておられるのかお聞きしたかったです。あのテレビでは人間の技術には限界があると主張されておられるような気がしてなりません。

No.5

特に私は人よりハイリスクを背負っており  
ましたのに、先生方の手で手術して頂いて今  
日があるのですから患者1人1人の病状等個  
人差がありますから余計に人間の判断が一番  
だと確信しております。コンピューター（ロ  
ボット）ではその取扱い者によって出来、不  
出来が起こってくるのではとかえって心配す  
なります。クローン人間で同じように訓練す  
れば又別でしょうが…。一度先生方にこの  
こととお話をしたかったのです。5/16に6  
回目の“股関節だより”を頂きました。早速  
佛淵 Prof. の学会報告を読ませて頂き、先生  
方の意気込みを感じる事が出来ほんとに嬉し  
いことでした。医学や医術が進歩する事は有  
難く素晴らしいことなのですが人間が主で機

No.6

械を上手に使いこなせるようになって欲しい  
です。心と心が通じ合う医療でなければいけ  
ないと思います。（少し思いあがりでしょう  
か、すみません。）

私の闘病人生(26年間)の中でH12. 7/14  
～8/19の佐賀医大整形外科病棟での入院生  
活は最高でした。人間の回復力、自然治癒力  
等今までに体験したことのない日々で、この  
時ばかりは入院生活も捨てたものではないと  
嬉しく希望に満ちた毎日でした。（もっとも  
皆様には多大なる迷惑をかけ手のかかる患者  
だったのですが…。）そのお陰でもととの  
病気まで佐賀に置いてきた気分で先生方やス  
タッフの皆様方、家族の者に感謝しながらの  
日々です。

No.7

もうすぐ1年（股関節の誕生日）、昨年の  
7月14日佛淵 Prof. の初診でお目にかかった  
時の第一声「今までのことはすべて水に流し  
て、ゼロから出発しましょうネ。」と言って  
下さった一言で頭の重いフタが取れた気分で  
何の不安もなく手術に臨めたことがどんなに  
か有難く幸せ者と心から喜びと感謝の気持  
ちで一杯です。

右脚の方は相変わらずですが左脚でカバー出  
来るようになりかなり生活しやすいです。ど  
こまで維持出来るかがこれからの課題ですが  
無理しないように流れにまかせております。

8/6の検診を楽しみに日常に気をつけて  
参りたいです。その時はお世話になりますが  
どうぞよろしくお願い致します。

有馬 由美さん

No.8

取り留めのつかない文になってしまいまし  
たが、NHKの件だけは、私の気持ちを聞いて  
頂きましたかったです。

長々と駄文を綴りましたが悪しからずご判  
読ください。

佐賀医大整形外科教室の皆様益々のご研  
鑽とご活躍・ご発展を心からお祈りいたしま  
す。平成13年5月18日

佛淵先生  
諸先生方

有馬 由美

石井 Dr. 検診日の予約変更ではお世話にな  
り有難うございました。先生のお声をお聞  
きして手紙を一気に書いてしまいました。  
お元気で!!

# お手紙・お葉書

## ありがとう

## ございます

こんにちは、宮崎県から来ました。三浦令子と申します。1日1歩3歩でこの三歩が出来なかった私、佛淵先生に手術をして頂き、入院経過表に書いてある計画表より、2日~3日も早く経過も良く毎日をたのしく過ごさせて頂いてます。遠くから、来たかいがありました。これからは私のような思いをしてる方が宮崎にも沢山あられると思います。ぜひとも私の順調な経過をお知らせしたいと思えます。股関節だよりも、1号から6号迄遠い所迄も送って頂きとても嬉しく拝見しました。何よりも主人が、一生懸命目をとっていていました。有り難うございました佛淵先生はじめ、皆様の御活躍をお祈り申し上げます。  
かしこ

佛淵先生  
内橋先生 (担当だった)  
中野看護婦士 (担当だった) 三浦 令子  
平成13年5. 26日 記

三浦 令子さん



三浦 令子さん



No.1

若葉が目映え さわやかな初夏の季節となりました。佛淵教授スタッフの方々丸となって、心からのケア頂き短期間で歩行できたことが、今だに夢のようです。

第五号に記載されてあった、クリニカルパスと言えば昭和六十三年右股関節置換術の際、若い先生に聞かされた時は、私信じられなかった。十数年たった、今教授によって改革され、私達患者にとって、大変幸せです。

新世紀股関節も一才の誕生日を迎え、記念すべき最良の年となりました。人との交流も楽しく温泉の誘い等、体の勲章に誇りを持って自慢出来ます。

この足のある時は、厳しく又優しく労り、感謝しつつ明るく前進するのみです。一才の誕生日を思い返し、今一度、おめでとう。

前山恵美子さん

No.2

教授の言葉で、どんなに重症患者も、戸惑いなく安堵し、喜びのあまり、夜も寝つけなかったと聞いております。私も、一年半前のごと(恥ずかしい) 家から引き返し病院の支払い済ませた経験があります。

日日是好日

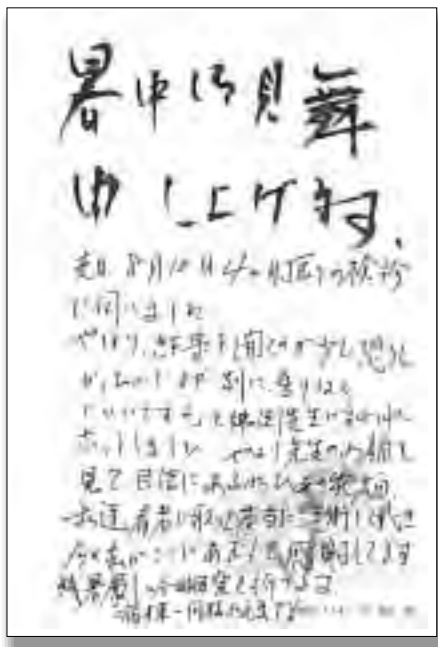
現代のモーゼに会えた気分です。

今日は堤 仁子さんを、急患として入院させて頂きほんとうにありがとうございました。

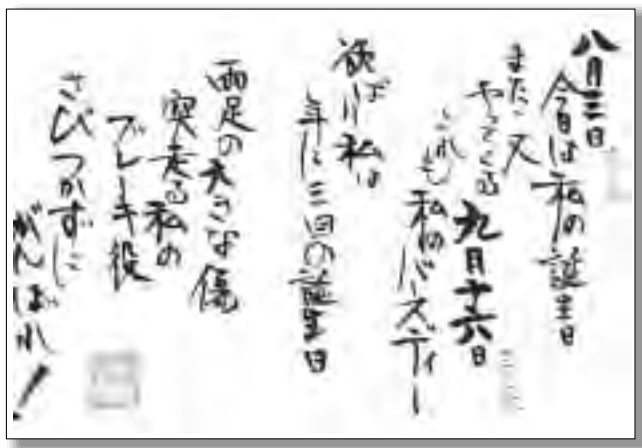
佛淵教授、スタッフの方々には、健康に留意されて、なお一層の躍進をお祈り申し上げます。

取りあえず御礼まで  
五月十二日

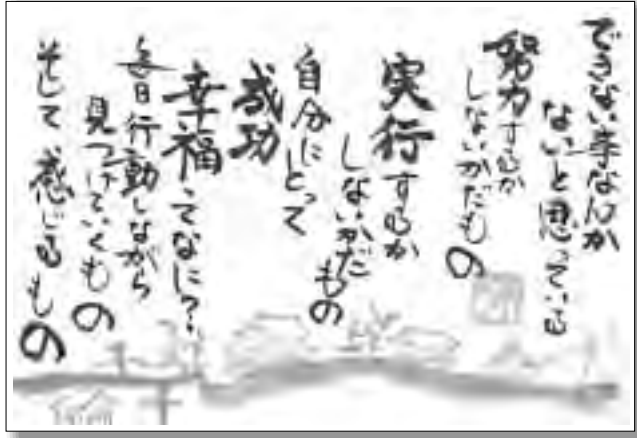
かしこ



佐野加代子さん



吉田 冬子さん



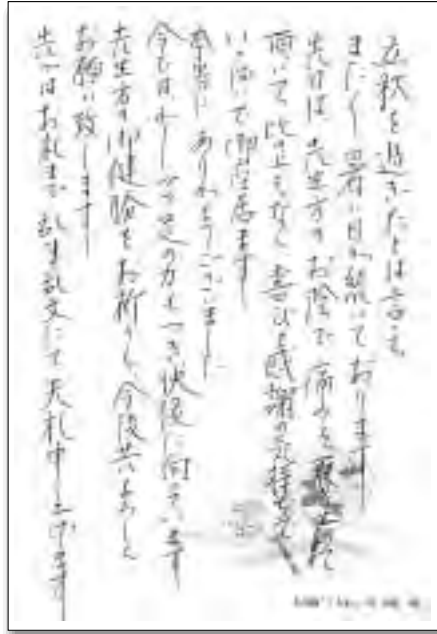
吉田 冬子さん



吉田 冬子さん



吉田 冬子さん



江口タマノさん

# 患者さん コーナー

この3人のうち、何人が手術を受けた方でしょうか？

解答は次号で...！



(武雄温泉にて)

## saga saga saga saga 佐賀 赤 コーナー saga saga saga

### 《病棟での患者さんと先生の会話》

Dr. : 今日の足の具合はどうか？

患者 : おろいたかね。  
リハビリばしすぎたけん  
ひっこわっとっよ。

Dr. : そんなに痛いですか？

患者 : そがんいとうなか。

Dr. : ??

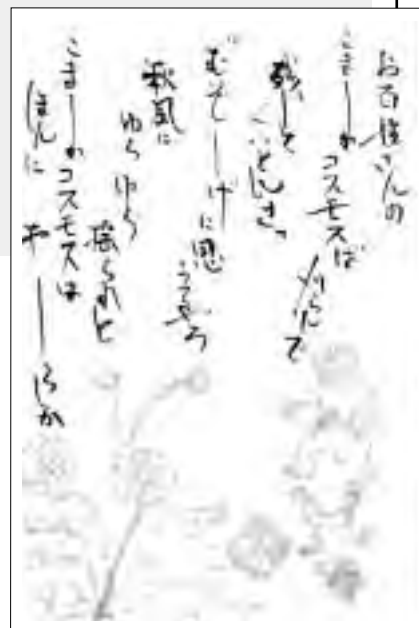
### ●今日のひとこと

- ・おろいたか (そんなに痛くない)  
↑↓  
どぎやんでんいたか (とても痛い)
- ・ひっこわっと (筋肉痛)
- ・きゃーくたびれた (すごく疲れた)
- ・ぐっちやいしと (元気がない)

### コメント

「おろいたか=すごく痛い」と思いこんでいて、手術は成功したのに何で痛いんだろうと不思議に思い、患者さんに質問したが、返ってきた言葉が「そがんいとうなか=あまり痛くない」だったので、先生は困ってしまいました。

実は「おろいたか=そんなに痛くない」という意味で、その事は、あとで分かったことなのですが…！





## ・東京の鈴木さん・

先週、韓国ソウルで開催された人工関節に関する国際学会に出席しました。先輩の先生方に、アジアやオーストラリア、ヨーロッパの先生方を紹介していただいた。

残念ながら、テロ事件でアメリカからの先生方はキャンセルしていた。

韓国の教授はキム先生が多く旧知のY・Y・キム先生以外はどのキム先生か分からない。Y・Yキム先生は74歳で、戦前日本の教育を受けていたため、私が下手な英語で話しかけると、「日本語で話しましょう」と流暢な日本語で言われてしまった…。

そういえば、大腿骨頭壊死のM・キムさんという患者さんが、韓国から三カ月一回外来に來られていた。

もつとも目的の半分は日本観光と思われませんが…。

ある日突然、

「東京の鈴木ですが…。忘れてた頃に我が家に電話があった。

取り次いだ娘は「…鈴木何さんとおっしゃいますか?」「…」「お父さん、東京の鈴木さんから電話!『東京の鈴木』と言えば分かるって!」《娘は何かのセールスと思っている》

この方は、九大病院で手術をされて、その後東京で私が抜釘した方である…。【その後我が家では、「東京の鈴木さん」は有名人である】

東京には鈴木さんが文字通り5万人という。患者にとっては、自分だけが「東京の鈴木さん」である。

これまでに十人以上手術させていただいた田中さん、中島さん、西村さん、中村さん、松尾さん、古川さん、古賀さん等々。同姓同名も、何組か…! 私の少し古くなったコンピュータ(少しボケの始まった頭)では処理しきれなくなった。今年の私共の教室のテーマを「IT」として情報の整理をやっています。時々外来でノートパソコンの資料をお見せすることがあるかと思えます。

もちろん個人情報ですので、プライバシーには気をつけています。

できるだけ多くの正しい情報を持って患者さんに接するように努力したいと思っています。

そういえば、最近「東京の鈴木さん」から電話がない。何となく少し淋しい気もする。

## 編集後記

立秋とは名ばかりで、暑さはまだまだ続きそうですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今回も発行するのが遅れまして申し訳ございません。昨年まで年4回発行していましたが、今年より年3回になりました。しかし、回数が減った分、皆様に満足していただけるような充実したものにしていきたいと思っておりますので、ご期待くださいませ。

さて、外来で顔を見られた方もいらっしゃると思いますが、5月に研修医の先生が8名（1名は7月から好生館の方へ異動され、9月からもう1名、国立嬉野病院の方へ異動されます）入局され、6月には外勤だった先生方が5名、大学に戻ってこられました。先生の入替わりで、医局もリフレッシュされたように思います。また、7月には1カ月間福島県立医科大学から青田先生が研修に来られましたので、今回は青田先生にも原稿をお願い致しました。それと前回予告をしておりました佐賀弁コーナーを掲載いたしました。いかがでしたでしょうか？いつもすてきなお葉書を戴く吉田冬子様からの佐賀弁で書かれた葉書も掲載しております。

さらにいろいろなコーナーの企画を思索中でございます。どうぞ楽しみにお待ちください。

股関節だよりは、皆様のお便りにより成り立っております。これからも皆様のお便りを心よりお待ちしております。また、お困りの点（股関節だよりを無くしたので再度郵送して欲しいなど）がございましたら、いつでもご連絡くださいませ。迅速に対処したいと思っております。編集長になってやっと6ヶ月になりますが、まだまだ未熟者でございますので先生達に助けられてばかりです。いろいろとご迷惑をおかけするかもしれませんが、今後とも何卒宜しくお願い致します。

それでは残暑厳しき折柄、風邪など引かないよう皆様どうぞお体ご自愛くださいませ。

お便り等宛先 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号  
佐賀医科大学整形外科内 股関節だより編集局 野中まで  
TEL: 0952-34-2343・FAX: 0952-34-2059